

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者:一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
地域課題への取組						
自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)		地域の高齢者の見守り及び把握	通年	地域課題解決型「広報みなと」配布事業のサポート	26年度より地域課題解決型事業として開始された「広報みなと」の配布事業も、28年度においては8地活協が港区全て11地域の配布事業を受託した。これは昨年11月の28年度同事業公募型プロポーザル募集開始に伴い事業参加予定の8地域から、企画提案書及び28年1月のプレゼンテーションに向けまちづくりセンターへの相談が寄せられ、当センターでは、この配布事業が既に2年に渡り実施されている事から、前年度一般財団法人大阪市コミュニティ協会との共同体であった地活協4地域に対して地域事情を鑑み、単体での応募をめざすよう提案しサポートを行い支援した事などが大きな要因と思われる(再度「地域課題解決型配布事業」の趣旨を各申請地活協主要担当者等へ説明、個々の地域事情に応じた検討の機会を設け支援を行った)また28年度8地活協受託に伴い、これら業務に付随する全戸配布の実績報告の作成、地域課題解決の取組み(高齢者や子どもの見守り、地域情報の発信、まちの問題の把握など)等について、港区との契約が履行されるよう支援を行っている。配布クレームについても、区役所担当課と連携して適切に対処している(担当地活協への指導等)防犯や高齢者の見守り等地域課題の一端を、広報紙を配布しながら解決する手法で自主財源確保につながる事業として、今後もサポートして行く。	8地域活動協議会が港区全11地域(1地域活動協議会が4地域を受託)において防犯、高齢者や子どもの見守りなど、地域課題の解決に取り組みながら広報紙を配布している。次年度の配布事業としては、28年1月29日に選定結果が通達され、28年度委託事業予定者として支援した全ての申請地域活動協議会が決定した。(27年度委託事業者選定にもれた1地域も復活している)
			H28.7.15	高齢者食事サービスの衛生管理講習会	28年度に7地域活動協議会(8ヵ所)が実施している「高齢者食事サービス事業」について、フードスタンプ検査(食中毒予防)及び精算報告事務等について、港区役所5階501会議室に於いて各地域の食事サービス委員に対し、衛生管理講習会を開催し支援を行った。また衛生講習の講師として区役所保健福祉課へ専門担当者を、フードスタンプ検査については大阪市西部生活衛生監視事務所に依頼し、フードスタンプの検査結果はまちづくりセンターで集約した上で、各参加地活協担当者へ結果の説明を行った。	参加者:食事サービス委員 12名 ・波除地域活動協議会(2ヶ所で実施) ・磯路地域活動協議会 ・NPO法人南市岡地域活動協議会 ・田中地域活動協議会 ・三先地域活動協議会 ・港晴地域活動協議会
			H28.1.17 H28.2.21 H28.3.20 H28.4.17 H28.5.22 H28.6.19 H28.7.17	ふれあい広場「朝市」	南市岡地域福祉計画にもある買い物弱者の課題解決やコミュニティビジネスにもつながる「朝市」を開催する為、NPO法人サービスグラント・プロボノチームと連携し、「朝市」のあり方等の方法を地域と共に考えながら実現に向けて支援して来たふれあい広場「朝市」も2年目となり、今では毎月行われる地域の催しとして定着した。朝市はふれあい広場として定期的に催されるもので人手も必要となるが、楽しく運営できるよう助言し、地域の担い手を増やしながら開催している。ふれあい広場では食事の提供もしており、現状世代間交流の場となっており、まちづくりセンターの支援による広報や活動の連携から、港区の他地域や阿倍野区、此花区や東成区など他区からの視察もあり、地域活動のネットワークの広がりも見られるようになった。また地域の高齢化対策が課題である為、地域福祉活動の柱としてまちづくりセンターが企画段階より相談に乗っており、将来的な買物弱者救済の事業についても、29年度に向けて介護保険法改正に伴う要支援者等の地域サポートの一環として、地域と共に検討に入っている。ふれあい広場「朝市」の収益は小学校の一時避難所備蓄品購入に充て、28年2月時点で地域700名を受け入れられるだけの備蓄品を積み上げ、7月現在では簡易トイレ等、法人の企業会員でもある防災専門卸(有)リングと連携して、今後の購入物の計画を行っている。また収益の一部を熊本地震の義援金に充てた。まちづくりセンターではこの取り組みを広く周知すべく、ふれあい広場「朝市」の趣旨や活動を、フェイスブックやホームページ等に掲載支援している。これらの事例は大阪市職員向け研修や、28年2月に開催された東大阪市役所・担い手養成講座で発表され、身近に取り組みやすい事例として好評であった。また大阪市が推進する「おおさかコミュニティビジネス情報局」の実例紹介に朝市の動画が掲載され、当まちづくりセンターではその撮影協力や監修にあたった。9月には滋賀県草津市役所のコミュニティビジネス講座に講師として、NPO法人南市岡地域活動協議会理事長が登壇する予定。まちづくりセンターでは、その準備支援を行っている。	地域:NPO法人南市岡地域活動協議会 協力:港市岡郵便局 株式会社間口 有限会社リング

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者:一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている	地域課題やニーズに対応した活動の実施	地域課題解決への取組み	H28.4.2	2016 桜通りde桜まつり	<p>港区磯路3丁目から弁天3丁目南北800mに至る桜通りの桜並木は、地域住民により植えられ管理されている桜並木で港区の桜の名所となり、港区の都市景観資源であり、国の緑陰道路プロジェクトにも指定されている。地域の理解と協力により育てる景観として、貴重な地域の景観資源となっている。ただ磯路地域町内会有志が40年以上に亘って管理してきた桜並木(区画道路・街路樹)の維持管理費用が年々かさむとともに有志の高齢化が進み、有志の会だけでは維持しきれない状況にある。その為、まちづくりセンターが、町内会有志と地活協メンバーの話し合いの場の設定を調整した。(地活協に協力を求められた。)</p> <p>解決策の一環として、NPO法人サービスグラント・プロボノチームと連携し、桜並木の維持費用を積算した上で、クラウドファンディング等の解決方法を提示し地域と共に検討した。その結果磯路地域の桜の現状を地元住民にも認知すべく桜まつりを開催することとなり、昨年桜通りを有する磯路地活協が、他の5地活協や各団体の協力を得ながら開催する為の支援を行なった。その開催費用の一部はクラウドファンディングの達成により賄い、残りを桜並木に名入れの手作りぼんぼりを飾り寄付を募った。</p> <p>この桜まつりは行政からの働き掛けではなく、大阪市の都市景観資源として広く愛されている「桜通り」を港区の財産として、自主的に各校下の地活協が主となり連携し、各種団体を巻き込みながら開催に至った。まちづくりセンターでは、歩行者天国申請等に関するサポートも行っている。</p> <p>桜まつり後に行なわれた反省会において、協力参加の地活協より次年度の開催を要望する声があがり28年4月2日に催す運びとなった。まちづくりセンターでは「2016 桜通りde桜まつり」の実施にあたり、2月10日に参加を希望する各地域の地活協や各種団体等で行なわれる「桜まつりの実行委員会」の開催をサポートした。</p> <p>また開催経費の問題について地活協事業として考えられる事や、補助金の対象となる分担金、寄付の募り方などを提言し支援した。結果28年度第二回目を迎えた桜まつりでは、区内11校下中7校下の地域活動協議会が「桜まつり実行委員会」を立ち上げまつりの運営を協議し、港区の課題として桜通りの啓発事業に連携して実施するに至った。</p> <p>結果桜まつり自体多くの団体が協力実施することから、主催する各地活協では、色々な面で運営スタッフが必要となるため、各地活協が参画団体の若手に声を掛ける等、新たな担い手を発掘する事にもつながり、この機を地域活動における有益なものとするよう今後も支援して行く。</p>	<p>主催:桜まつり実行委員会 市岡地域活動協議会 田中地域活動協議会 磯路地域活動協議会 港晴地域活動協議会 弁天地域活動協議会 三先地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動協議会 協力:他各種団体</p>
			H28.6.~ H28.7.14	港区クラウドファンディングセミナー	<p>「地域を元気にしたい、延いては港区を元気にしたい」との思いのある人や団体、地域や企業が集い、その思いやプランを自由に話し合い連携協働する事を目的に、港区役所とまちづくりセンター(大阪市コミュニティ協会)、そのツールとしてクラウドファンディングサイトを運営するFAAVO大阪が主催となり、「地域のために、こんな活動をしたい!」地域のCBにもつながる「新商品を開発して、まちを元気にしたい」などアイデアを実現するため資金を幅広い方から募る方法等のセミナーを実施した。</p> <p>インターネットを活用したソーシャルの力でプロジェクト資金を募るクラウドファンディングが、個人、団体、企業等を問わず、誰でもがチャレンジ出来る事を学んで頂き、地域活性につながる商品の開発資金や地域課題解決のための資金集めの一環として、使えるツールである事をアピールした。</p> <p>港区では既に磯路地域と築港地域において2つのクラウドファンディング成功例があり、その実例を実際に担当された地活協の役員にプレゼンして頂いた。</p> <p>まちづくりセンターでは、地域の自律を促す一助になるよう支援を続ける。</p>	<p>地域:磯路地域活動協議会 参加者:48名 (港区、此花区、大正区等の個人、市民活動団体も含む)</p>
			H28.6 ~ H28.7.2	プロボノ1DAYチャレンジ2016支援	<p>プロボノを活用し地域課題の解決策を地活協役員とプロボノチーム(企業グループボランティア4名)が協議する機会とするため、7月2日に実施される「プロボノ1DAYチャレンジ2016」を2地域に紹介。事前に取組む地域課題のヒヤリングをサービスグラント(プロボノ)と連動し、地域の実情を引き出しながら役員と共に解決案の検討に入った。</p> <p>プロボノ1DAYチャレンジ2016当日は、地域活動を行う方たちが身近なスマートフォンやPCを活用し、無料ソフト・Googleカレンダー上で地域の各種団体(地活協構成団体)がそれぞれの情報を共有し合う方法を、弁天と磯路地域で活動するボランティアの視点で構築した。(地域内で共通のアカウントを設定する事で、権限を与えられた団体の方が自由にウェブ上のカレンダーに、行事や会議の告知、参加要請、また各種団体が有する地域課題の情報等を書き込みそれらを共有出来る。ホームページを持つ地域はそのサイトに設定する事でそれが有益なサイトになり、HPを開設していない地域も無料でカレンダーがウェブ上に掲載されるため、地活協と検索するだけで他地域間も含め情報共有が容易となるシステム。また一般に公開する情報と、地域、各団体等のみで公開設定が可能)</p> <p>負担のないツールで各種団体(地活協構成団体)間での情報交流が容易となる事から、より地域課題が共有しやすくなり、今まで課題であった電子媒体を活用した新たな交流が生まれる。またこのシステムを活用するであろう年齢層は地域活動における次世代であり、ウェブ上の交流が後には実行動として連携される事も想定している。</p> <p>まちづくりセンターではプロボノと作成した今回のマニュアルを基に、年度内実施予定の広報研修会で、港区全校下を対象とする実践研修を行う。</p>	<p>地域:弁天地域活動協議会 磯路地域活動協議会</p>

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者:一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
		財源確保の取組	通年	地域課題解決型「広報みなと」配布事業のサポート【再掲】	26年度より地域課題解決型事業として開始された「広報みなと」の配布事業も、28年度においては8地活協が港区全て11地域の配布事業を受託した。 これは昨年11月の28年度同事業公募型プロポーザル募集開始に伴い事業参加予定の8地域から、企画提案書及び28年1月のプレゼンテーションに向けまちづくりセンターへの相談が寄せられ、当センターでは、この配布事業が既に2年に渡り実施されている事から、前年度一般財団法人大阪市コミュニティ協会との共同体であった地活協4地域に対して地域事情を鑑み、単体での応募をめざすよう提案しサポートを行い支援した事などが大きな要因と思われる(再度「地域課題解決型配布事業」の趣旨を各申請地活協主要担当者等へ説明、個々の地域事情に応じた検討の機会を設け支援を行った) また28年度8地活協受託に伴い、これら業務に付随する全戸配布の実績報告の作成、地域課題解決の取組み(高齢者や子どもの見守り、地域情報の発信、まちの問題の把握など)等について、港区との契約が履行されるよう支援を行っている。 配布クレームについても、区役所担当課と連携して適切に対処している(担当地活協への指導等)防犯や高齢者の見守り等地域課題の一端を、広報紙を配布しながら解決する手法で自主財源確保につながる事業として、今後もサポートして行く。	8地域活動協議会が港区全11地域(1地域活動協議会が4地域を受託)において防犯、高齢者や子どもの見守りなど、地域課題の解決に取り組みながら広報紙を配布している。 次年度の配布事業としては、28年1月29日に選定結果が通達され、28年度委託事業予定者として支援した全ての申請地域活動協議会が決定した。 (27年度委託事業者選定にもれた1地域も復活している)
			H28.7~8	企業助成金、福祉ボランティア活動助成金の申請サポート	大阪ガス等企業の助成制度や区の実情に応じた大阪市福祉ボランティア活動助成事業の助成金を活用し、福祉(高齢者福祉、世代間交流)や地域人材育成等新たな事業を興そうとする地域に対して、そのメリット、デメリットを説明し、共に地域の事情を考慮した事業計画を考えた。 助成申請目的としては市岡、南市岡両地活協共に、「いきいき百歳体操」用の椅子購入考えている。市岡会館では2階スペースで既に百歳体操を実施しているが参加希望の高齢者も多く、1階にもそのスペースを設けたい。また南市岡はこれから取組まれる為、同様の体操用椅子を希望している。これら地域課題でもある高齢化の対策として企画されるもので、まちづくりセンターでは各助成金申請にあたって、適切なアドバイスと申請サポートを行っている。	地域:市岡地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動協議会
			H28.6. ~ H28.7.14	港区クラウドファンディングセミナー【再掲】	「地域を元気にしたい、延いては港区を元気にしたい」との思いのある人や団体、地域や企業が集い、その思いやプランを自由に話し合い連携協働する事を目的に、港区役所とまちづくりセンター(大阪市コミュニティ協会)、そのツールとしてクラウドファンディングサイトを運営するFAAVO大阪が主催となり、「地域のために、こんな活動をしたい!」地域のCBにもつながる「新商品を開発して、まちを元気にしたい」などアイデアを実現するため資金を幅広い方から募る方法等のセミナーを実施した。 インターネットを活用したソーシャルの力でプロジェクト資金を募るクラウドファンディングが、個人、団体、企業等を問わず、誰でもがチャレンジ出来る事を学んで頂き、地域活性につながる商品の開発資金や地域課題解決のための資金集めの一環として、使えるツールである事をアピールした。 港区では既に磯路地域と築港地域において2つのクラウドファンディング成功例があり、その実例を実際に担当された地活協の役員にプレゼンして頂いた。 まちづくりセンターでは、地域の自律を促す一助になるよう支援を続ける。	地域:磯路地域活動協議会 参加者:48名 (港区、此花区、大正区等の個人、市民活動団体も含む)
			通年	自主財源確保のための活動の支援	区民まつりへの模擬店の出店や行政からの委託事業を受託するための支援を行った。 また、NPO法人サービスグラント・プロボノチームと連携して支援を行い、磯路地域ではクラウドファンディングを実践することとなり、その経緯や成果については、自主財源確保のノウハウのひとつとして、他の地域にも紹介する機会を設けている。また南市岡地域では朝市を開催した事で、継続的な収益事業となるよう現状支援を続けている。 平成27年度28年度と続けて大阪ガス助成事業申請のサポートを行い、また大阪市ボランティア活動振興基金を活用した地域福祉や地域コミュニティ活動の場作りとなる助成金の申請をサポートした事から、それら助成事業が計画通りに実施されているか確認し、その運営や報告書等の作成支援をしている。	今年度区民まつりへの模擬店出店:11地域 行政からの委託事業:地域課題解決型「広報みなと」配布業務委託(8地域受託)、いきいき放課後事業運営・管理業務委託(1地域受託)・港区広報板管理業務(1地域受託) 助成申請地域:市岡地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動協議会 田中地域活動協議会 地域:NPO法人南市岡地域活動協議会
法人格の取得		法人の運営	H28.6~7	NPO法人決算報告等の支援	南市岡地域活動協議会では平成26年11月19日NPO法人格を取得して二度目の決算・事業報告となるが、煩雑な作業である事から、役員等と相談・確認をしながら帳票作成のサポートをした。(大阪市民局NPO認証へ提出済み) また本年度は役員改選で理事及び監事の異動ある事から、法務局における登記簿の変更申請が必要となり、まちづくりセンターでは共に確認をしながらその作成を支援した。	

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者:一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
つながりの拡充						
イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進	地域コミュニティの場作り	H28.1.17 H28.2.21 H28.3.20 H28.4.17 H28.5.22 H28.6.19 H28.7.17	ふれあい広場「朝市」【再掲】	<p>南市岡地域福祉計画にもある買い物弱者の課題解決やコミュニティビジネスにもつながる「朝市」を開催する為、NPO法人サービスグラント・プロボノチームと連携し、「朝市」のあり方等の方法を地域と共に考えながら実現に向けて支援して来たふれあい広場「朝市」も2年目となり、今では毎月行われる地域の催しとして定着した。</p> <p>朝市はふれあい広場として定期的に催されるもので人手も必要となるが、楽しく運営できるよう助言し、地域の担い手を増やしながらかつ開催している。ふれあい広場では食事の提供もしており、現状世代間交流の場となっており、まちづくりセンターの支援による広報や活動の連携から、港区の他地域や阿倍野区、此花区や東成区など他区からの視察もあり、地域活動のネットワークの広がりも見られるようになった。</p> <p>また地域の高齢化対策が課題である為、地域福祉活動の柱としてまちづくりセンターが企画段階より相談に乗っており、将来的な買い物弱者救済の事業についても、29年度に向けて介護保険法改正に伴う要支援者等の地域サポートの一環として、地域と共に検討に入っている。</p> <p>ふれあい広場「朝市」の収益は小学校の一時避難所備蓄品購入に充て、28年2月時点で地域700名を受け入れられるだけの備蓄品を積み上げ、7月現在では簡易トイレ等、法人の企業会員でもある防災専門卸(有)リングと連携して、今後の購入物の計画を行っている。また収益の一部を熊本地震の義援金に充てた。</p> <p>まちづくりセンターではこの取り組みを広く周知すべく、ふれあい広場「朝市」の趣旨や活動を、フェイスブックやホームページ等に掲載支援している。</p> <p>これらの事例は大阪市職員向け研修や、28年2月に開催された東大阪市役所・担い手養成講座で発表され、身近に取り組みやすい事例として好評であった。また大阪市が推進する「おおさかコミュニティビジネス情報局」の実例紹介に朝市の動画が掲載され、当まちづくりセンターではその撮影協力や監修にあたった。9月には滋賀県草津市役所のコミュニティビジネス講座に講師として、NPO法人南市岡地域活動協議会理事長が登壇する予定。まちづくりセンターでは、その準備支援を行っている。</p>	<p>地域:NPO法人南市岡地域活動協議会 協力:港市岡郵便局 株式会社間口 有限会社リング</p>
			H28.4~	地域サロンの実施支援	<p>平成27年度大阪市ボランティア活動振興基金の助成事業を活用して、NPO法人南市岡地域活動協議会が実施している地域サロン(「健康サロン」「映画サロン」「食事サロン」「元気サロン」)の運営や、地域活動に関わりの薄かった住民が参加しやすいメニューの企画に対してアドバイスを行なっている。</p> <p>大阪市の中でも健診率の悪い港区において、NPO法人の企業会員にもなっている多根総合病院とも連携しながら健診率向上へ向けた健康サロン等は、地域の課題だけではなく港区全体の課題として取組まれている。</p> <p>この秋からは「いきいき百歳体操」も積極的に取り入れたいとの意向があり、その運営にあたっては区からの情報も示しながら、まちづくりセンターも参画して進めている。</p> <p>また助成事業結果報告書等の作成にも支援を行っている。</p>	<p>主催:NPO法人南市岡地域活動協議会</p>

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者:一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
地域活動協議会を構成する活動主体同士の連携・協働(担い手の拡大含む)【地域活動協議会内部】		新たな担い手の拡大	H28.4.2	2016 桜通りde桜まつり【再掲】	<p>港区磯路3丁目から弁天3丁目南北800mに至る桜通りの桜並木は、地域住民により植えられ管理されている桜並木で港区の桜の名所となり、港区の都市景観資源であり、国の緑陰道路プロジェクトにも指定されている。地域の理解と協力により育てる景観として、貴重な地域の景観資源となっている。ただ磯路地域町内会有志が40年以上に亘って管理してきた桜並木(区画道路・街路樹)の維持管理費用が年々かさむとともに有志の高齢化が進み、有志の会だけでは維持しきれない状況にある。その為、まちづくりセンターが、町内会有志と地活協メンバーの話し合いの場の設定を調整した。(地活協に協力を求められた。)</p> <p>解決策の一環として、NPO法人サービスグラント・プロボノチームと連携し、桜並木の維持費用を積算した上で、クラウドファンディング等の解決方法を提示し地域と共に検討した。その結果磯路地域の桜の現状を地元住民にも認知すべく桜まつりを開催することとなり、昨年桜通りを有する磯路地活協が、他の5地活協や各団体の協力を得ながら開催する為の支援を行なった。その開催費用の一部はクラウドファンディングの達成により賄い、残りを桜並木に名入れの手作りぼんぼりを飾り寄付を募った。</p> <p>この桜まつりは行政からの働き掛けではなく、大阪市の都市景観資源として広く愛されている「桜通り」を港区の財産として、自主的に各校下の地活協が主となり連携し、各種団体を巻き込みながら開催に至った。まちづくりセンターでは、歩行者天国申請等に関するサポートも行っている。</p> <p>桜まつり後に行なわれた反省会において、協力参加の地活協より次年度の開催を要望する声があがり28年4月2日に催す運びとなった。まちづくりセンターでは「2016 桜通りde桜まつり」の実施にあたり、2月10日に参加を希望する各地域の地活協や各種団体等で行なわれる「桜まつりの実行委員会」の開催をサポートした。</p> <p>また開催経費の問題について地活協事業として考えられる事や、補助金の対象となる分担金、寄付の募り方などを提言し支援した。結果28年度第二回目を迎えた桜まつりでは、区内11校下中7校下の地域活動協議会が「桜まつり実行委員会」を立ち上げまつりの運営を協議し、港区の課題として桜通りの啓発事業に連携して実施するに至った。</p> <p>結果桜まつり自体多くの団体が協力実施することから、主催する各地活協では、色々な面で運営スタッフが必要となるため、各地活協が参画団体の若手に声を掛ける等、新たな担い手を発掘する事にもつながり、この機を地域活動における有益なものとするよう今後も支援して行く。</p>	<p>主催:桜まつり実行委員会 市岡地域活動協議会 田中地域活動協議会 磯路地域活動協議会 港晴地域活動協議会 弁天地域活動協議会 三先地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動協議会 協力:他各種団体</p>
			H28.7~8	天保山まつり 模擬店参加	<p>毎年築港エリアの魅力の向上と発信のため地域と行政が連携して実施している天保山まつりは、区内の他地域での認知度が低い傾向にある。</p> <p>昨年度よりそれを払拭すべく他の地域にも広く参加を呼びかける事になった。</p> <p>今年度も同様に模擬店での地活協参加を促すため、まちづくりセンターでは、まつりの趣旨や内容を各地域に説明し、11月の開催に向けて各地域の地域活動協議会が模擬店で参加できるよう支援した。</p>	<p>説明対象地域:田中地域活動協議会・港晴地域活動協議会・市岡地域活動協議会・南市岡地域活動協議会・築港地域活動協議会・三先地域活動協議会・磯路地域活動協議会</p>
			H28.7~8	港区民まつり 模擬店参加	<p>各地域活動協議会には形成時より自律を促して来たが、その方法のひとつとして港区民まつりでの模擬店出店参加を募ってきた。昨年は港区全11校下の地活協が参加するに至った。</p> <p>まちづくりセンターでは地域自律の一環として、前回同様港区全11校下模擬店エントリーにつなげるべく、地域活動協議会の役員等に説明を続ける。</p>	<p>地域:港区全11地域活動協議会</p>
			H28.4~	児童いきいき放課後事業	<p>NPO法人南市岡地域活動協議会が受託して2年目となり、児童いきいき放課後事業のメニュー内容も地域役員の会議を経て決められるが、まちづくりセンターもアドバイザー的なかたちで参画し、情報発信等の支援をしている。</p> <p>NPO法人南市岡地域活動協議会ホームページで掲載するためのページ作成のサポートも行っているが、それらのいきいきの取組み内容をまちづくりセンターのフェイスブックや、大阪市コミュニティ協会のホームページにも掲載支援している。</p>	<p>地域:NPO法人南市岡地域活動協議会</p>

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者:一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
地活協を構成する活動主体同士や、地活協と他の活動主体との連携・協働が促進されている			通年	地域課題解決型「広報みなと」配布事業のサポート【再掲】	26年度より地域課題解決型事業として開始された「広報みなと」の配布事業も、28年度においては8地活協が港区全て11地域の配布事業を受託した。 これは昨年11月の28年度同事業公募型プロポーザル募集開始に伴い事業参加予定の8地域から、企画提案書及び28年1月のプレゼンテーションに向けまちづくりセンターへの相談が寄せられ、当センターでは、この配布事業が既に2年に渡り実施されていることから、前年度一般財団法人大阪市コミュニティ協会との共同体であった地活協4地域に対して地域事情を鑑み、単体での応募をめざすよう提案しサポートを行い支援した事などが大きな要因と思われる(再度「地域課題解決型配布事業」の趣旨を各申請地活協主要担当者等へ説明、個々の地域事情に応じた検討の機会を設け支援を行った) また28年度8地活協受託に伴い、これら業務に付随する全戸配布の実績報告の作成、地域課題解決の取組み(高齢者や子どもの見守り、地域情報の発信、まちの問題の把握など)等について、港区との契約が履行されるよう支援を行っている。 配布クレームについても、区役所担当課と連携して適切に対処している(担当地活協への指導等)防犯や高齢者の見守り等地域課題の一端を、広報紙を配布しながら解決する手法で自主財源確保につながる事業として、今後もサポートして行く。	8地域活動協議会が港区全11地域(1地域活動協議会が4地域を受託)において防犯、高齢者や子どもの見守りなど、地域課題の解決に取り組みながら広報紙を配布している。 次年度の配布事業としては、28年1月29日に選定結果が通達され、28年度委託事業予定者として支援した全ての申請地域活動協議会が決定した。 (27年度委託事業者選定にもれた1地域も復活している)
			通年	八幡屋地域活動協議会運営委員会定期開催	八幡屋地域内の地域活動情報を各運営委員が共有する目的の為に、港区まちづくりセンターが助言支援をし、八幡屋地域活動協議会の運営委員会が2ヶ月に1度、奇数月に開催できる事となった。今年度は町会長にも積極的に地活協行事に参画を呼び掛けるなど、地域一体で物事に当たろうとする動きが見られる。	地域:八幡屋地域活動協議会
			H28.4.2	2016 桜通りde桜まつり【再掲】	港区磯路3丁目から弁天3丁目南北800mに至る桜通りの桜並木は、地域住民により植えられ管理されている桜並木で港区の桜の名所となり、港区の都市景観資源であり、国の緑陰道路プロジェクトにも指定されている。地域の理解と協力により育てる景観として、貴重な地域の景観資源となっている。ただ磯路地域町内会有志が40年以上に亘って管理してきた桜並木(区画道路・街路樹)の維持管理費用が年々かさむとともに有志の高齢化が進み、有志の会だけでは維持しきれない状況にある。その為、まちづくりセンターが、町内会有志と地活協メンバーの話し合いの場の設定を調整した。(地活協に協力を求められた。) 解決策の一環として、NPO法人サービスグラント・プロボノチームと連携し、桜並木の維持費用を積算した上で、クラウドファンディング等の解決方法を提示し地域と共に検討した。その結果磯路地域の桜の現状を地元住民にも認知すべく桜まつりを開催することとなり、昨年桜通りを有する磯路地活協が、他の5地活協や各団体の協力を得ながら開催する為の支援を行なった。その開催費用の一部はクラウドファンディングの達成により賄い、残りを桜並木に名入れの手作りぼんぼりを飾り寄付を募った。 この桜まつりは行政からの働き掛けではなく、大阪市の都市景観資源として広く愛されている「桜通り」を港区の財産として、自主的に各校下の地活協が主となり連携し、各種団体を巻き込みながら開催に至った。まちづくりセンターでは、歩行者天国申請等に関するサポートも行っている。 桜まつり後に行なわれた反省会において、協力参加の地活協より次年度の開催を要望する声があがり28年4月2日に催す運びとなった。まちづくりセンターでは「2016 桜通りde桜まつり」の実施にあたり、2月10日に参加を希望する各地域の地活協や各種団体等で行なわれる「桜まつりの実行委員会」の開催をサポートした。 また開催経費の問題について地活協事業として考えられる事や、補助金の対象となる分担金、寄付の募り方などを提言し支援した。結果28年度第二回目を迎えた桜まつりでは、区内11校下中7校下の地域活動協議会が「桜まつり実行委員会」を立ち上げまつりの運営を協議し、港区の課題として桜通りの啓発事業に連携して実施するに至った。 結果桜まつり自体多くの団体が協力実施することから、主催する各地活協では、色々な面で運営スタッフが必要となるため、各地活協が参画団体の若手に声を掛ける等、新たな担い手を発掘する事にもつながり、この機を地域活動における有益なものとするよう今後も支援して行く。	主催:桜まつり実行委員会 市岡地域活動協議会 田中地域活動協議会 磯路地域活動協議会 港晴地域活動協議会 弁天地域活動協議会 三先地域活動協議会 NPO法人南市岡地域活動協議会 協力:他各種団体

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者:一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働【外部との連携・協働】		活動主体との連携・協働	H28.6 ~ H28.7.2	プロボノ1DAYチャレンジ2016支援【再掲】	プロボノを活用し地域課題の解決策を地活協役員とプロボノチーム(企業グループボランティア4名)が協議する機会とするため、7月2日に実施される「プロボノ1DAYチャレンジ2016」を2地域に紹介。事前に取組む地域課題のヒヤリングをサービスグラント(プロボノ)と連動し、地域の実情を引き出しながら役員と共に解決案の検討に入った。 プロボノ1DAYチャレンジ2016当日は、地域活動を行う方たちが身近なスマートフォンやPCを活用し、無料ソフト・グーグルカレンダー上で地域の各種団体(地活協構成団体)がそれぞれの情報を共有し合う方法を、弁天と磯路地域で活動するボランティアの視点で構築した。(地域内で共通のアカウントを設定する事で、権限を与えられた団体の方が自由にウェブ上のカレンダーに、行事や会議の告知、参加要請、また各種団体が有する地域課題の情報等を書き込みそれらを共有出来る。ホームページを持つ地域はそのサイトに設定する事でそれが有益なサイトになり、HPを開設していない地域も無料でカレンダーがウェブ上に掲載されるため、地活協と検索するだけで他地域間も含め情報共有が容易となるシステム。また一般に公開する情報と、地域、各団体等のみで公開設定が可能) 負担のないツールで各種団体(地活協構成団体)間での情報交流が容易となる事から、より地域課題が共有しやすくなり、今まで課題であった電子媒体を活用した新たな交流が生まれる。またこのシステムを活用するであろう年齢層は地域活動における次世代であり、ウェブ上の交流が後には実行動として連携される事も想定している。 まちづくりセンターではプロボノと作成した今回のマニュアルを基に、年度内実施予定の広報研修会で、港区全校下を対象とする実践研修を行う。	地域: 弁天地域活動協議会 磯路地域活動協議会
			H28.7~8	天保山まつり 模擬店参加【再掲】	毎年築港エリアの魅力の向上と発信のため地域と行政が連携して実施している天保山まつりは、区内の他地域での認知度が低い傾向にある。 昨年度よりそれを払拭すべく他の地域にも広く参加を呼びかける事になった。 今年度も同様に模擬店での地活協参加を促すため、まちづくりセンターでは、まつりの趣旨や内容を各地域に説明し、11月の開催に向けて各地域の地域活動協会が模擬店で参加できるよう支援した。	説明対象地域: 田中地域活動協議会・港晴地域活動協議会・市岡地域活動協議会・南市岡地域活動協議会・築港地域活動協議会・三先地域活動協議会・磯路地域活動協議会
			H28.7~8	港区民まつり 模擬店参加【再掲】	各地域活動協議会には形成時より自律を促して来たが、その方法のひとつとして港区民まつりでの模擬店出店参加を募ってきた。昨年は港区全11校下の地活協が参加するに至った。 まちづくりセンターでは地域自律の一環として、前回同様港区全11校下模擬店エントリーにつなげるべく、地域活動協議会の役員等に説明を続ける。	地域: 港区全11地域活動協議会
			H28.4~	児童いきいき放課後事業【再掲】	NPO法人南市岡地域活動協議会が受託して2年目となり、児童いきいき放課後事業のメニュー内容も地域役員の会議を経て決められるが、まちづくりセンターもアドバイザー的なかたちで参画し、情報発信等の支援をしている。 NPO法人南市岡地域活動協議会ホームページで掲載するためのページ作成のサポートも行っているが、それらのいきいきの取組み内容をまちづくりセンターのフェイスブックや、大阪市コミュニティ協会のホームページにも掲載支援している。	地域: NPO法人南市岡地域活動協議会
			H28.6. ~ H28.7.14	港区クラウドファンディングセミナー【再掲】	「地域を元気にしたい、延いては港区を元気にしたい」との思いのある人や団体、地域や企業が集い、その思いやプランを自由に話し合い連携協働する事を目的に、港区役所とまちづくりセンター(大阪市コミュニティ協会)、そのツールとしてクラウドファンディングサイトを運営するFAAVO大阪が主催となり、「地域のために、こんな活動をしたい!」地域のCBにもつながる「新商品を開発して、まちを元気にしたい」などアイデアを実現するため資金を幅広い方から募る方法等のセミナーを実施した。 インターネットを活用したソーシャルの力でプロジェクト資金を募るクラウドファンディングが、個人、団体、企業等を問わず、誰でもがチャレンジ出来る事を学んで頂き、地域活性につながる商品の開発資金や地域課題解決のための資金集めの一環として、使えるツールである事をアピールした。 港区では既に磯路地域と築港地域において2つのクラウドファンディング成功例があり、その実例を実際に担当された地活協の役員にプレゼンして頂いた。 まちづくりセンターでは、地域の自律を促す一助になるよう支援を続ける。	地域: 磯路地域活動協議会 参加者: 48名 (港区、此花区、大正区等の個人、市民活動団体も含む)
活動主体間の情報共有		活動主体間の情報共有	H28.7~8	草津市コミュニティビジネス講座の支援	NPO法人南市岡地域活動協議会が行っているふれあい広場「朝市」を中心としたコミュニティビジネス等の取り組みについて、(公財)草津市コミュニティ事業団より9/8日に実施されるCBセミナーの講師の依頼があり、草津市役所の担当者とセミナーの打合せを地域と共に行った。 地域と発表内容の検討を重ね、資料等の作成をサポートしている。 まちづくりセンターではセミナーに、アドバイザーとして同行し支援する。	NPO法人南市岡地域活動協議会

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者:一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
			H27.9~	大阪市まちづくり支援制度の活用	南市岡地域では、区画整理がなされておらず、緊急車両が進入できない幅の道路も多くあり、防災面での課題となっている。大阪市まちづくり支援制度を活用して専門的なアドバイスを得るべく区役所と連携し、支援制度のグループを形成して、地域の課題等検討する会議を支援した。地域で実行委員会を立ち上げ、合議の上支援制度を活用する課題も決定し、支援アドバイザーの面接に至るサポートを行った。今年度中に地域実行委員会と専門アドバイザーのまち歩きによる課題検証を実施予定。	NPO法人南市岡地域活動協議会より8名参加(実行委員会)
			通年	平成28年度 港区避難所開設訓練及び地域防災学習会	港区が取組む平成28年度地域防災計画と、避難所開設訓練及び防災リーダー研修において、各地域で開催される地域防災学習会についての周知チラシの作成や打合せ等の支援を行った。また、6/19日に実施した磯路地域避難所開設訓練においては、まちづくりセンターで此花区4地域の視察のサポートを行い、磯路地活協と他区の地活協との連携を図った。また訓練の様子をフェイスブックに掲載し、情報発信に努めた。	対象:港区全11地域・地域活動協議会
	地域公共人材の活用					
組織運営						
民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている	議決機関(総会・運営委員会等)の適正な運営	開かれた組織運営	随時	役員会・運営委員会の開催支援	総会・運営委員会の開催にあたって、地域の必要に応じて、事前の資料作成の支援や進め方についてのアドバイスを行い、適正な会議運営を支援している。結果、定期的に役員会を開催する地域、地活協の参画団体が毎月連絡会を開き、地域の行事や課題を協議して地活協にあげる地域も見られるようになった。	対象:全11地域
			H28.5~	地域フォーラム開催の支援	地域活動協議会が始動して4年目となり、区役所と連携しながら開かれた組織運営の支援を行って来た。だが依然として地域においては地活協の基本的な理解度が低いと思われる校下もあり、再度基本的な組織(協議体)の仕組みや考え方、一括補助金に関わる運営の仕方等への理解を図る機会として、港区全地域に向けて地域フォーラムの開催を呼び掛ける事にした。各地域によって地域事情が異なる事からまちづくりセンターでは事前にヒヤリングを行い、各地活協フォーラム対象者へ向け補う点など地域の意向を酌み、有益な場となるように地域と協議を重ねている。8/4日には市岡地域会館において、地域活動協議会運営委員と地域振興町会長を対象とした地活協フォーラムを開催する運びで、区役所担当課と資料等の最終準備作業に入っている。8/26日に弁天地域、9/25日は田中地域、10/15日には磯路地域と、各地活協と協議をしながら地域の意向に沿ったフォーラムの開催を図っている。	対象:全11地域
			通年	八幡屋地域活動協議会運営委員会定期開催化【再掲】	八幡屋地域内の地域活動情報を各運営委員が共有する目的の為に、港区まちづくりセンターが助言支援をし、八幡屋地域活動協議会の運営委員会が2ヶ月に1度、奇数月に開催できる事となった。今年度は町会長にも積極的に地活協行事に参画を呼び掛けるなど、地域一体で物事に当たるようになる動きが見られる。	地域:八幡屋地域活動協議会
	会計事務の適正な執行	会計の透明性	H28.7.28	平成28年度地域活動協議会補助金に係る説明会	地域活動協議会一括補助金に関する決算処理や区で新たに整理された取り組み等、地域活動事業及び地活協運営において重要な説明会であることから、まちづくりセンターでは各地域の主だった方や会計担当者にその旨説明し全ての地域の参加につなげた。会計説明会では、補助金に係る資料の整理や事業報告、決算資料の作成について説明。その後疑問点等について、地域より相談を受けている。	港区全地域より、参加者数約62名
	多様な媒体による広報活動	情報公開	随時	まちづくりセンターによる広報	地域活動協議会の情報発信を支援するために、地域活動協議会の広報紙コーナーを設置(区役所内2ヶ所、区民センター、近隣センター)。まちづくりセンターのフェイスブックで、地域活動協議会の会議や事業を紹介。また、地域活動協議会の活動を大阪市コミュニティ協会港区支部協議会のホームページで発信している。	対象:全11地域
			随時	地域活動協議会の広報活動の支援	前年度に引き続き、広報紙の発行やフェイスブック等のインターネットを活用した広報の支援をしている。現在、広報紙は全11地域で発行(うち2地域は毎月発行)されており、インターネットを活用した広報は7地域で実施されている。4月には新たに築港地域活動協議会でホームページを立ち上げ、ウェブ環境の構築からサイト設計に至るサポートをした。現状6地域において地活協公式ホームページが運営されている。	対象:全11地域

地域活動協議会への支援状況(運営)

【港区】(受託者:一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

めざす姿	地域活動協議会の取組()	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
			H28.4 ~ H29.3	広報みなと「地域活動協議会便り」原稿作成サポート	昨年度より港区の広報紙において、各校下地域活動協議会の活動等を毎月校下ごとに掲載したが、今年度からはまちづくりセンターの企画提案で、地域活動を頑張っている個人にスポットをあてた「地域活動協議会便り」原稿等の作成サポートを行っている。	対象:全11地域 内4地域(5月号~3月号)実施
区独自取組						
(区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定している具体の取組を右欄に記載)						

具体的な取組については「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」を参照